

区分・種別	県指定史跡		
名 称	ひだかくじらやまのこふん 日高鯨山の古墳		
所 在 地	今治市馬越町2丁目		
所 有 者	大山祇神社ほか	管 理 団 体	今治市
指定年月日	昭和25年10月24日		
解 説	平地部にある^{くじらやま}鯨山は、標高15m、東西約150m、南北最長部約35mの独立した丘陵であり、この丘陵を利用して築造された古墳である。一般には前方後円墳といわれており、過去の記録にも「現状は前方部に当たる西南部が少し変形されているが、後円部はほぼ完全に旧態を存し、かつて円筒埴輪^{えんとうはにわ}があったという。」とある。しかし、墳丘実測図等から前方後円墳と断定するには疑問な点もあり、今後の調査を待たなければならない。 天正7（1579）年の大三島^{おおはふり おちやすとう}の大祝越智安任^{おちのみこと}の手記には「小千^こ御子御墓在馬越邑」とあり、越智国造乎致命^{おちのくにのみやつこおちのみこと}の墓と伝えられ、付近の人も聖域としてよく保護している。		

